

第1分科会

学校運営協議会を生かしたカリキュラム改善 －「総探発表会」を中心に－

発表者 広島市立美鈴が丘高等学校学校運営協議会 会長
／広島経済大学 教授 胤森 裕暢

学校所在地	生徒数	学校運営協議会			地域学校協働活動推進員等数
		設置年度	委員数	年間開催回数	
広島県広島市	720名	令和3年度	9名	3回	0名

学校教育目標

校訓「進取 友愛 節度」のもと、高い志を持ち、変化の激しい社会において自らの未来を切り拓き、「地域共生社会」の担い手となる人材を育成する。

学校・地域の特徴

- 国際平和文化都市、広島市に向け、地域社会の発展に貢献し続ける人材を育てる。
- 教科・科目等の授業改善
 - ・「協同学習」の実施
 - ・地域の魅力発信や課題解決を行う探究活動（「総合的な探究の時間」他）
 - ・学校設定新科目「未来計画」のカリキュラム開発
 - ・授業改善研修、観察月間
- 公民館イベント、団地イベント（生徒有志が参画）
- ・公民館での子ども食堂、小学生夏休み課題、放課後児童クラブ等の支援活動（あすなる会(部活動)が参画）
- ・区地域起こし推進課が連携

学校運営協議会の概要

委員の構成

PTA会長（保護者代表）
 美鈴が丘まちづくり協議会長
 美鈴が丘地区自主防災連合会長
 美鈴が丘地区青少年健全育成連絡協議会長（地域住民代表）
 佐伯区役所地域起こし推進課長
 美鈴が丘公民館長
 美鈴が丘中学校長 全9名
 （学校運営に資する活動を行う者）
 地元大学教授2名（学識経験者）

主な議題例（令和5年度）

- 第1回（6月）
前年度学校評価結果
今年度学校経営計画
普通科改革支援事業の概要
- 第2回（10月）
学校教育活動への意見・提言
学校経営目標に基づく教育活動
普通科改革支援始業の進捗状況
- 第3回（2月）
今年度学校評価報告書
次年度以降の取組、方針
普通科改革支援事業の進捗状況

組織図

学校運営協議会

参画及び支援を促進し、学校と信頼関係を深め、学校運営の改善、生徒の健全育成に資する。
 メンバー：保護者代表・地域住民代表・学校の運営に資する活動を行う者・学識経験者

コンソーシアム

（探究的な活動を支援する連携協力体制）

CSを整備充実。事業を管理、学科改編の状況进行评估。
 ※学校評価の項目も設け管理
 メンバー：CS委員・教職員・生徒会代表・経営者・学識経験者

校長
教職員

保護者 地域住民等

地域学校協働活動の 特徴的な取組や工夫など

- 美高の生徒たちによる活動
 - ・美高生の美鈴が丘公民館主催の地域行事へのボランティア参加（「日本の伝統文化に触れよう和菓子作りに挑戦」「親子食育講座」）
 - ・諸部活動による美鈴が丘地区「さわやか清掃」
 - ・あすなる会（部活動）としてのボランティア活動。美鈴が丘公民館（「子ども食堂」「キッズ料理教室」「わ・わ・わ広場」）や佐伯区社会福祉協議会（「コミュニケーション麻雀」）等に協力。

わ・わ・わ広場



コミュニケーション麻雀



- 地域からの支援・参画
 - ・「防災校内研修」区地域起こし推進課が講師
 - ・「全体計画作成校内研修」CS委員が講師
 - ・「探究発表会」（年2回7月の3年生最終成果発表会、3月の1、2年生中間成果発表会）へのCS委員の参観・講評
 - ・佐伯区「湯来町フィールドワーク」でCS委員の区地域起こし推進課長が事前指導



平成13年度 全市立学校に「学校協力者会議」を設置し、学校・家庭・地域の連携協力体制を構築

令和2年度 先行的に小中一貫教育校3校にコミュニティ・スクールを導入（導入校の「学校協力者会議」は廃止）

令和3年度 コミュニティ・スクール導入校の拡大（市立小学校21校、中学校12校、高等学校7校、中等教育学校1校）

令和3年10月 コミュニティ・スクール導入についての説明動画を作成

内容：導入にかかる経緯や趣旨等の説明

※ 各校の研修会での利用の他、各校に設置している学校協力者会議等で視聴

令和3年12月 「令和3年度コミュニティ・スクールに係る研修会」を実施

対象：市立学校の教職員、地域の希望者

内容：CSマイスターによる今後のコミュニティ・スクールの在り方についての講演や他自治体の取組の紹介

令和4年度 市立の全小・中・高等学校、中等教育学校、特別支援学校にコミュニティ・スクールを導入

令和4年8月 「令和4年度コミュニティ・スクールに係る研修会」を実施

対象：市立学校の教職員、地域の希望者

内容：先行的にコミュニティ・スクールを導入した市立学校による実践発表

CSマイスターによる今後のコミュニティ・スクールの在り方についての講演や他自治体の取組の紹介

令和5年10月 「令和5年度コミュニティ・スクールに係る研修会」を実施

内容：コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進

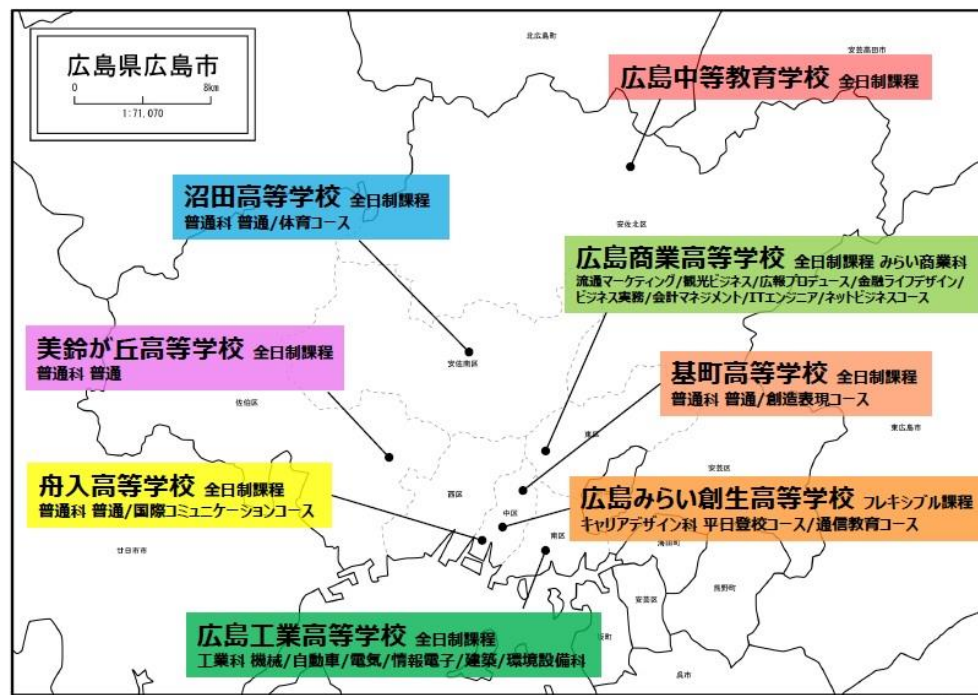
※ 各校の学校運営協議会の委員も参加できるよう、オンラインによる研修の実施

広島市立高等学校（8校）の将来構想

- 広島市立高等学校 7校
 - 全日制課程 普通科 4校（内コース設置校 3校）
 - 商業科・工業科
 - フレキシブル課程 キャリアデザイン科（総合学科）
- 広島市立広島中等教育学校 1校

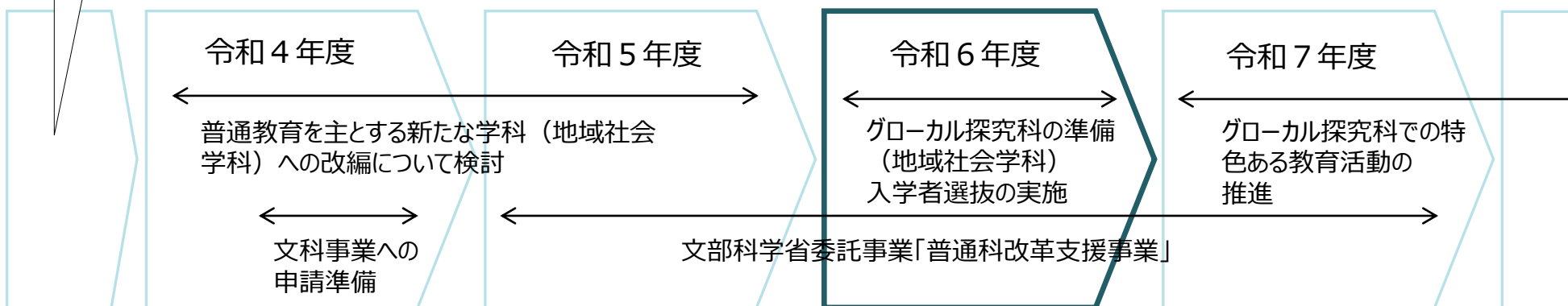


令和4年3月
広島市ハイスクールビジョン 及び
ハイスクールビジョン推進プログラムの
中間見直しを実施



□ ハイスクールビジョン推進プログラム 広島市立美鈴が丘高等学校の将来構想

隣接する美鈴が丘小・中学校と連携した本校生徒が主体となって関わる校種をつないだ取組や、近隣の大学等と連携した地域の課題を専門的な見方・考え方を取り入れ解決する取組等を通して、地域社会を担う生き方や働き方についての考え方を深めるキャリア教育を実践する新たな学科への改編について検討する。





学 校 名：広島市立美鈴が丘高等学校グローバル探究科（地域社会学科）
設置年度：令和7年度 収容定員：720名（1学年240名）
主な特色：広島市が有する課題や魅力に着目した「探究的な活動」を特色とする



【グローバル探究科での取組・検討状況】

国際平和文化都市「広島」をフィールドとした学びにより、地域社会の発達に貢献し続ける人物を育成する

＜育成を目指す資質・能力＞

地域や社会の課題を見出す力 正解のない課題に向き合い続ける力 協同して課題を解決する力

□ カリキュラム開発

1 新たな学校設定教科・科目「未来計画」の開設（1学年2単位）

学びの柱である探究の「学び方を学ぶ」プログラムを実施する。
探究の手法だけでなく、成長し続ける心構えも同時に習得する。

2 探究活動を重視した各教科・科目の授業改善

「育成を目指す資質・能力」に基づく目標と評価規準の設定。
「問い」から始まり「社会につながる課題」を学ぶ授業へ。

3 総合的な探究の時間（2・3学年2時間連続全学年同時間帯）

週1日は探究に特化した日を作り、午後から学年の枠を超えたフィールドワークや課題解決学習に集中できるよう設定する。

□ コンソーシアムの設置

（関係機関等との連携協力体制の整備）
大学教職員、地域（公民館）、企業（広島ドラゴンフライズ）、行政機関（地域起こし推進課）、との連携の窓口を整備している。

□ 高校コーディネーターの配置

令和6年度は大学教授を助言者として配置し、令和7年度から民間経験者を配置し、社会に開かれた教育課程の実現を目指す。

資質・能力を育成するため
一体としてカリキュラムを実施

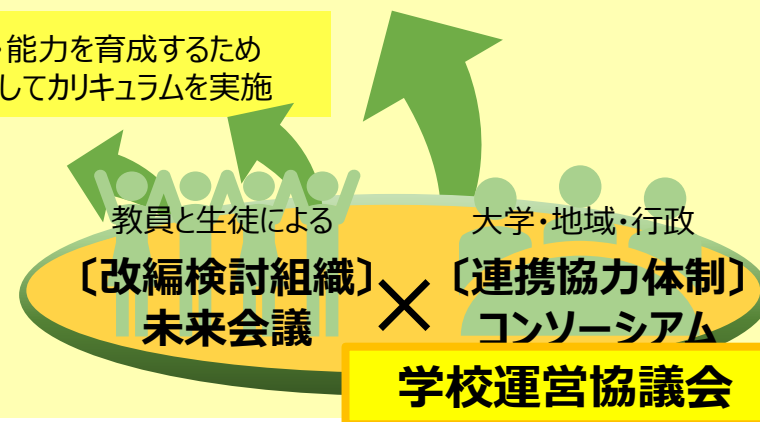
【グローバル探究科設置に関する今後の課題】

□ コンソーシアムの継続

コンソーシアムを持続的に機能させるには設置者の支援が必要である。

□ 高校コーディネーターの配置

コーディネーターの認知度が低く、持続的な人的支援に障壁がある。
法的な位置づけがなければ、自治体ごとに温度差がでる。



学校運営協議会 第1回（6月）

参画及び支援を促進し，学校と信頼関係を深め学校運営の改善，生徒の健全育成に資する。

メンバー：保護者代表・地域住民代表・学校の運営に資する活動を行う者・学識経験者

コンソーシアム（探究的な活動を支援する連携協力体制） 第1回会議（7月）

CSを整備充実。事業を管理，学科改編の状況の評価。
メンバー：CS委員他・教職員・生徒会代表・経営者・学識経験者

運営指導委員会（7月）

事業を評価・検証，指導・助言。
メンバー：市教委部長・CSマイスター・大学教授・美高前校長

① 探究発表会（7月 終業式後）

（3年生最終成果発表会）

CS委員（コンソ委員），
運営指導委員会委員 参観・講評

学校運営協議会 第2回（10月）

保護者代表・地域住民代表・学校の運営に資する活動を行う者・学識経験者

コンソーシアム（連携協力体制） 第2回会議（11月）

CS委員他・教職員・生徒会代表・経営者・学識経験者

運営指導委員会（12月）

② 授業観察月間（9月～12月）

CS委員（コンソ委員）参観

③ 生徒対象授業評価アンケート（9月）

CS委員（コンソ委員） 改善分析協力

④ 授業改善の校内研修（10月）

CS委員（コンソ委員） 講師

学校運営協議会 第3回（2月）

保護者代表・地域住民代表・学校の運営に資する活動を行う者・学識経験者
探究発表会の事前打合せ（スライド2-⑥）

コンソーシアム（連携協力体制） 第3回会議（2月）

CS委員他・教職員・生徒会代表・経営者・学識経験者
探究発表会の事前打合せ（スライド2-⑥）

運営指導委員会（3月）

探究発表会の事前打合せ（スライド2-⑥）

⑤ 「総探」全体計画作成の校内研修（1月）

CS委員（コンソ委員） 講師

⑥ 探究発表会（3月）

（1，2年生中間成果発表会）

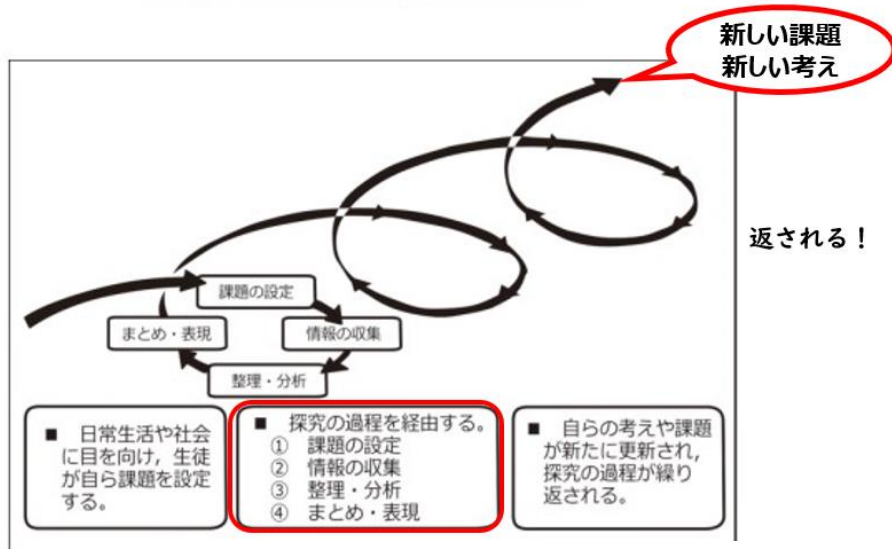
CS委員，他のコンソ委員，運営指導委員会委員 事前打合せ，参観・講評（2-⑥）

⑦ 佐伯区湯来町フィールドワーク（3月末）

希望者生徒（18名）
CS委員（コンソ委員） 事前指導など

探究の過程 たんきゅうのかてい みんなでどんどん身につけよう！！

「物事の本質を自己との関わりで探り見極めようとする一連の知的営み」



2023年7月24日 美高3年探究発表会

評価の基準表 (ルーブリック)

- A **興味に基づいて、適切な課題を設定し、多角的に分析して考察したことを、他者に聞き取りやすく、わかりやすい話し方で、論理的に、発表できている。**
- B **興味に基づいて、適切な課題を設定し、分析して考えたことを、論理的に、発表できている。**
- C 適切な課題を設定し、考えたことを、発表できている。

重要 令和5年度第3学年探究発表会開催！

7月24日(月)に第3学年探究発表会を開催しました。代表生徒が広島市域の地域課題への提案や広島魅力発見ツアープロジェクトに関して、堂々と発表を行いました。

全体講評として、広島経済大学の胤森教授をお招きし、今後の美鈴が丘高校の総合的な探究の時間をさらに充実させていくためのヒントをいただきました。

今度は3学期に、1, 2年生による探究発表会を計画しています。どんな発表が出てくるかとても楽しみです！



令和5年8月21日

先生方へ

学力向上推進担当

授業観察月間および指導案の作成について

1 はじめに

(1) 授業改善の経過

本校では、平成31年度から「協同学習」に注目し、学習する集団づくりの育成を目指して取組を続けています。また、今年度からは、文部科学省委託事業「新時代に対応した高等学校改革推進事業（普通科改革支援事業）」の指定校に採択されたことを受け、各教科の授業をこれまで培ってきた「**協同学習**」を基盤とする探究型学習へと改善することが改革の骨子となっています。

そこで今年度は、その第一歩として、「**生徒が問いをもって授業に臨む**」ことを目標として授業改善することを6月9日の職員研修で目線合わせをしました。さらに、8月21日の職員研修では、本校で育成する**9つの資質・能力が、各教科・科目においてどのように育成し得るのか**を検討したところでもあります。

(2) 授業観察月間の趣旨と重点

各教科の授業を、「**協同学習**」を基盤とする探究型学習へと改善するべく、9月～12月の2学期にかけ、以下の2点に重きを置いた授業観察月間を設けます。

- ① **9つの資質・能力**のうち、どの資質・能力の育成を意図し、どのような工夫を施しているか。
- ② 「**生徒が問いをもって授業に臨む**」ためにどのような工夫がなされているか。

全校態勢の組織的改善をしていくためには、先生方全員にご協力いただく必要があります。指導案の作成等でお手間を取らせることとなりますが、趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

2 期間

令和5年9月1日（金）～12月22日（金）

3 授業観察の方法

- ①授業の空き時間を確認し、任意の授業を自由に観察してください。授業観察のアポイントは、公開予定の授業については原則不要とします。
- ②観察後は、事前にお配りした「授業観察カード」に記入し、**教頭先生に提出してください**。
カードは、教務室に準備しております。
- ③授業観察カードはこの期間内に1人4枚程度ご提出ください。

- *観察は、50分間全てを義務づけるものではありませんが、20～30分程度はご覧ください。
- *授業観察カードは、教育研究部学力向上推進担当が定期的に仕分けを行ない、授業者の先生方にお渡しします。
- *実施に関するご質問は、地歴科田中（智）までお願いします。

授業公開－2年保健

9～12月は授業観察期間です。
教員全員が授業を公開し、互いに観察して実践力を高めます。
今年度のテーマは「育成する資質能力の明確化」と「生徒が問いを持つための工夫」です。

2年生の保健の授業です。
学習内容は健康的な職業生活で、職場がおこなう健康増進対策について考えました。
労働や職業といってもなかなかイメージしづらいものですが、一番身近な「先生（教師）」を対象にして課題の発見と解決策を提案する授業でした。

『どうしたら、先生たちがもっと余暇を活用できるようになるのか？』

放課後の指導や部活動のあり方など、自分たちがイメージしやすい内容から課題を見いだしていました。その後、タブレット端末による情報検索や仲間との対話を通して、具体的な解決策を考えました。

生徒は自分ごととして課題に向き合っていました。

生徒の
情報収集力、発信力、思考力、連携力
の育成を目指した授業でした。



表 授業観察月間に設定され実施された「問い」（抜粋）

教科科	問いの内容
保健	どうすれば学校の先生の働き方が改善されるか。
日本史探究	奈良時代に目指された律令国家の「理想像」とはどのようなものか。
国語	『徒然草』の作者 兼好法師が伝えたかったこととは何か。～「丹波に出雲といふ所あり」に似た他の段を読み比べて読み取る。～
音楽	表現主義の作曲家は、どのように音楽で狂気を表現したのか。
数学	平均値が同じ場合、それらの「データ」は本当に「同じ」なのか。
国語	あなたが豊太郎ならばどう行動したか。（題材：森鷗外『舞姫』）
数学	正多面体は、我々の生活の中にどのように活用されているのか。
英語	修学旅行の思い出を英語で語ろう
国語	光源氏は、なぜ昼間ではなく夕方に垣間見を行ったのか。
家庭科	フードマイレージを計算し、あなたが不思議に思うことは何か。
保健	性感染症・エイズの予防について、あなたはどのよう行動すればよいか。
生物	夏緑樹や照葉樹を観察し、気付いたことや疑問に思ったことは何か。
公民	核兵器はなぜなくなるのか。
物理	閉管の基本振動数は、どのようにして変えているのか。
歴史総合	敗戦後の日本は、非軍事化・民主化を進めていたのに、なぜ再軍事化したのか。
美術	他者の作品の良い点や工夫した点はどこか、言語化しよう。
英語	SDGsの内容を四コマ漫画で分かりやすく英語で伝えるにはどう工夫したらいいか。

表 生徒対象授業評価アンケート R5年9月実施 (一部)

No	項目
1	この教科の授業は、はじめに「めあて(目標)」や本時のポイントが示されている。
2	この教科の授業は、ペアやグループ活動を取り入れている。
3	この教科の授業は、他者に自分の意見を伝えたり、他者と協力しながら課題を解決したりする機会がよくある。
4	(新)この教科の授業は、予習のための課題(教科書の読解、ノート作り、意味調べ、問題演習など)が設定されている。
5	(新)この教科の授業は、生徒が自分で問いを立てたり、課題を設定したりする工夫がされている。
6	(新)この教科の授業は、問いや課題を解決するために、自分たちで仮説を立てたり、情報を調べたりする活動が取り入れられている。
7	(新)この教科の授業は、資料や実験の結果を読み取ったり、それを整理・分析したりする活動が取り入れられている。
8	(新)この教科の授業は、「ふりかえり」や復習課題(ふりかえりシートの記述、問題演習など)に取り組む場面がある。
9	(新)この教科の授業は、学習した内容や自分の意見をまとめたり、新しい疑問に気づいたりする活動が取り入れられている。

授業改善の重点「問いを持って授業に臨む」に深く関わる「質問5 この授業では、生徒が自分で問いを立てたり、課題を設定したりする工夫がなされている」の回答からは、どの学年でも、60～70%の生徒が、自ら問いや課題を解決する工夫が授業でされていたと肯定的な評価をしており、教員の工夫がよく伝わっていると考えられた。

学校運営協議会を生かした美高カリキュラム改善の具体 - 授業改善の校内研修 講師 -



2024年2月15日 美高1年・2年探究発表会(5・6限)
評価の基準表(ルーブリック)



- A 地域住民や広島市民にとって魅力的な課題を設定し、
- A 地元、美鈴地域、広島市民に相談しながら、
- A 多角的に分析して考えたことを、複数の根拠をあげながら、
- A 他者にわかりやすい話し方で、発表できている。
- B 自分たち高校生の生活に役立つ課題を設定し、
- B 保護者や教職員に相談しながら、
- B 分析して考えたことを、根拠にあげながら、
- B 他者に聞き取りやすく、発表できている。
- C 自分の興味に基づいて適切な課題を設定し、
- C 仲間に相談しながら、
- C 考えたことを、根拠をふまえて、
- C 発表できている。

令和5年度 広島市立美鈴が丘高等学校 育成を目指す3つの資力・能力のルーブリック

評価項目	レベル1	レベル2	レベル3
1. 課題設定	① 地域住民や広島市民にとって魅力的な課題を設定している。	① 地元、美鈴地域、広島市民に相談しながら、課題を設定している。	① 自分たち高校生の生活に役立つ課題を設定している。
2. 調査・分析	① 多角的に分析して考えたことを、複数の根拠をあげながら、発表できている。	① 他者にわかりやすい話し方で、発表できている。	① 自分たちの生活に役立つ課題を設定し、保護者や教職員に相談しながら、分析して考えたことを、根拠にあげながら、他者に聞き取りやすく、発表できている。
3. 発表	① 自分たちの生活に役立つ課題を設定し、仲間に相談しながら、考えたことを、根拠をふまえて、発表できている。	① 自分たちの生活に役立つ課題を設定し、仲間に相談しながら、考えたことを、根拠をふまえて、発表できている。	① 自分たちの生活に役立つ課題を設定し、仲間に相談しながら、考えたことを、根拠をふまえて、発表できている。



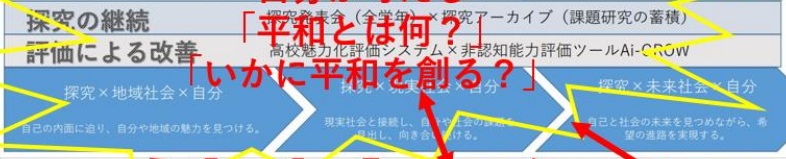
令和5年度広島市立美鈴が丘高等学校

総合的な探究の時間

自分の【好き】を究め、社会に貢献する美高生!

総合的な探究の時間Ⅰ	総合的な探究の時間Ⅱ	総合的な探究の時間Ⅲ
<ul style="list-style-type: none"> 【好き】探究プロジェクト 広島市域平和探究プロジェクト 地域魅力発信プロジェクト 	<ul style="list-style-type: none"> 修学旅行進路別・班別研修プロジェクト 地域課題解決プロジェクトⅠ 	<ul style="list-style-type: none"> 地域課題解決プロジェクトⅡ マイヒストリープロジェクト
<ul style="list-style-type: none"> 平和探究講演会 平和探究フィールドワーク キャリア形成講演会 探究中間発表会(2学期) 	<ul style="list-style-type: none"> 修学旅行 平和探究講演会 探究中間発表会(3学期) 	<ul style="list-style-type: none"> 探究発表会(1学期) 平和探究講演会

カリキュラム・マネジメントを確立して
教育活動の質を向上させ、学習の効果の最大化を図ります。



自分が考える
「平和とは何?」
「いかに平和を創る?」

学校運営協議会を生かした美高カリキュラム改善の具体 -「総探」全体計画及びその別葉作成の校内研修 講師-

今年度（令和5年度） 「総探」全体計画案



- 3点 地域住民や広島市民の暮らしにも役立つ課題を設定し
- 3点 地域住民等にも相談し、様々な側面や立場からよく考えた答えや新課題を
- 3点 元気に、分かりやすい表現の仕方、発表できている。
- 2点 他の生徒の生活にも役立つ課題を設定し
- 2点 教職員にも相談しながら、細かくていねいに考えた答えや新しい課題を
- 2点 元気に、はっきりした口調で、発表できている。
- 1点 自分の興味に基づく適切な課題を設定し【地域や社会の課題を見出す力】
- 1点 仲間に相談して考えた答えや新しい課題を【共同して課題を解決する力】
- 1点 元気に、発表できている。【正解のない課題に向き合い続ける力】

令和5年度 広島市立美鈴が丘高等学校 育成目標の達成状況評価（ループブック）

育成目標	評価項目	評価内容
1. 主体的な学習態度	1-1 主体的な学習態度	授業中積極的に発言し、学習に取り組む姿勢が観察される。
2. 協働的な学習態度	2-1 協働的な学習態度	グループワークで役割分担が明確になり、互いに協力し合いながら学習を進める。
3. 探究的な学習態度	3-1 探究的な学習態度	課題解決のために自ら調べ、考え、試行錯誤を繰り返す姿勢が観察される。

令和5年度 総合的な探究の時間 全体計画

保護者の願い	学校の願い	生徒の願い
【学校の願い】 国際「未来 産業」のもと、高い志を持ち、変化の激しい社会において、自らの未来を切り拓き、「地域共生社会」の担い手となる人材を育成する。	【生徒の願い】 国際平和文化都市「広島」をフィールドとした学びにより地域社会の発展に貢献し、進化する人物。	【生徒の願い】 (生徒の実情も考慮)
【学校の願い】 国際「未来 産業」のもと、高い志を持ち、変化の激しい社会において、自らの未来を切り拓き、「地域共生社会」の担い手となる人材を育成する。	【生徒の願い】 国際平和文化都市「広島」をフィールドとした学びにより地域社会の発展に貢献し、進化する人物。	【生徒の願い】 (生徒の実情も考慮)

【目的】 探究の意欲・考え方を高め、協働的・総合的な学習を行うことを通じて、人間としての在り方などを考え、よりよく自分と社会の関係を捉え直し解決していくための探究・能力を次のとおり育成することを目的とする。

【内容】 ① 探究の意欲・考え方を高め、協働的・総合的な学習を行うことを通じて、人間としての在り方などを考え、よりよく自分と社会の関係を捉え直し解決していくための探究・能力を次のとおり育成することを目的とする。

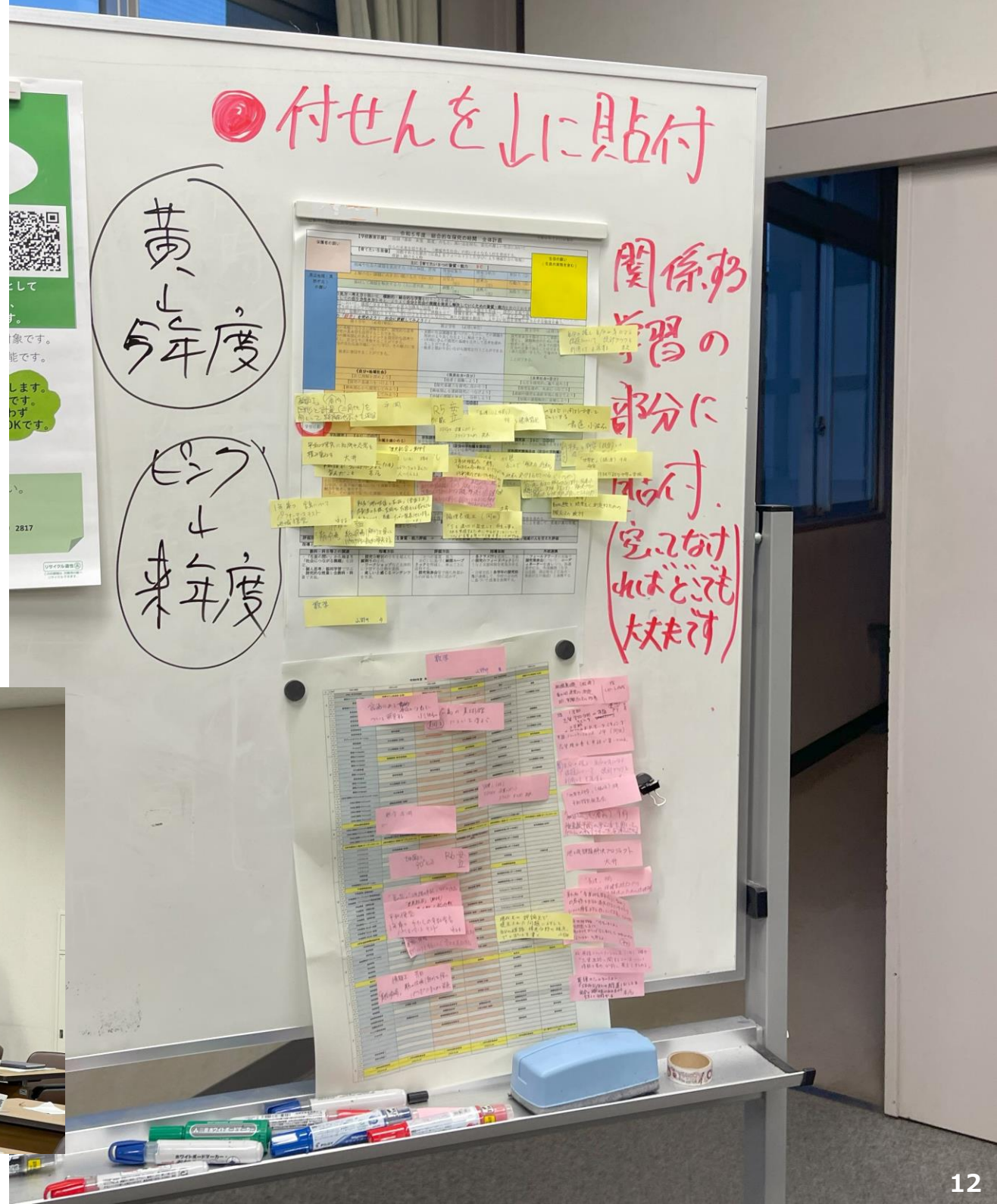
【評価】 ① 探究の意欲・考え方を高め、協働的・総合的な学習を行うことを通じて、人間としての在り方などを考え、よりよく自分と社会の関係を捉え直し解決していくための探究・能力を次のとおり育成することを目的とする。

令和5年度 総合的な探究の時間 別葉(LHR・教科との関連)

探究領域	探究テーマ	探究内容	探究方法	探究成果
1	生き方(自分)	自分自身の生き方について考える。	自己分析、インタビュー	自己分析レポート
2	在り方(地域)	地域社会の課題を解決するための探究。	フィールドワーク、インタビュー	地域課題解決レポート
3	在り方(世界)	国際社会の課題を解決するための探究。	国際会議参加、オンラインディスカッション	国際社会課題解決レポート

どうか、お手元の付せん1枚に、一カ所、ここは関係していたかなという内容を書いて貼ってください

「公共」(胤森)
2月「持続可能な社会への参画レポート」

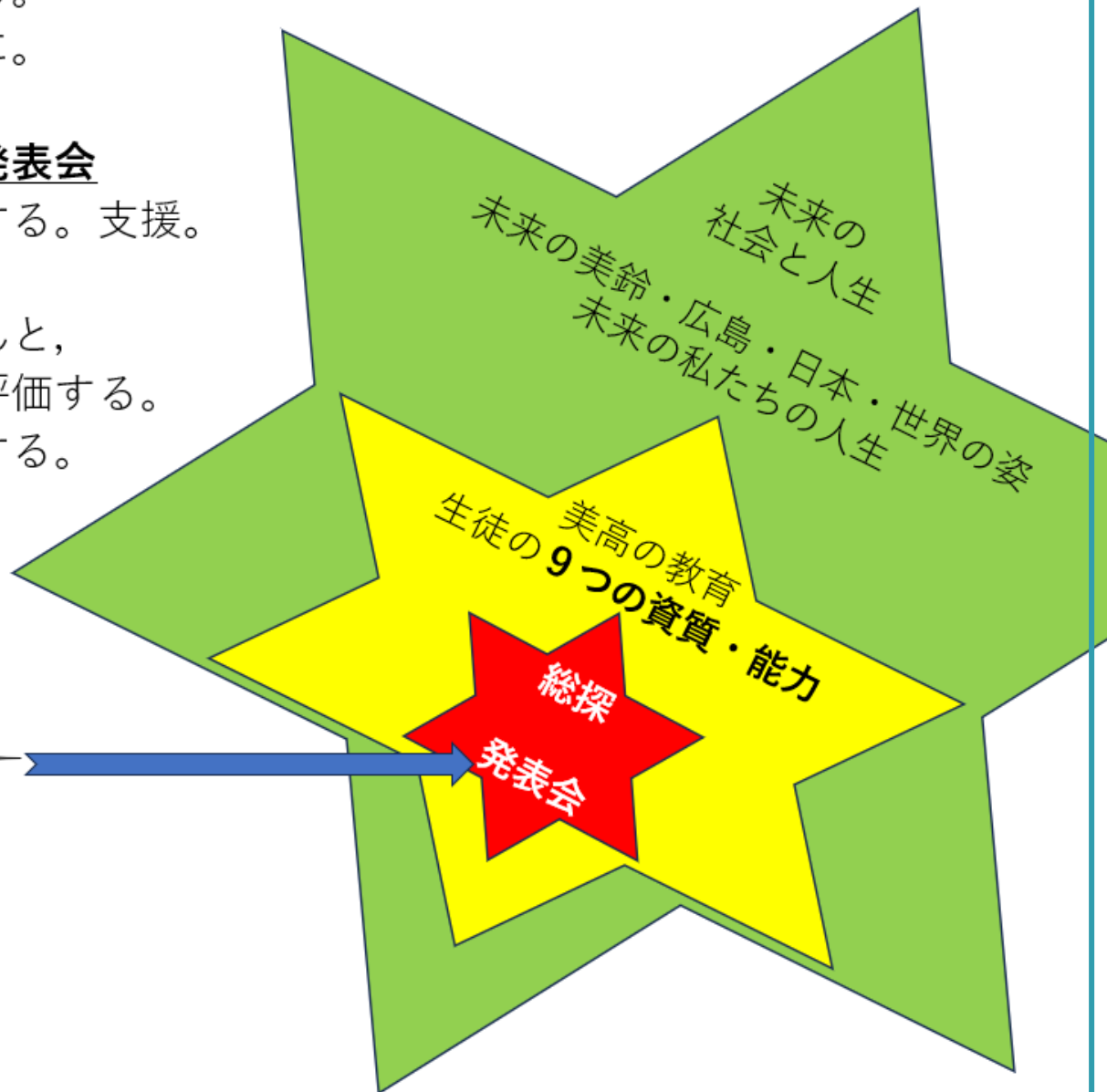


☆美高の教育目標を共有し、効果的に参画する。
未来の私たちの社会と人生を切り拓くために。

◎美高教育の要 (かなめ) となる「**総探**」の**発表会**
をよく評価し、美高教育の創造を支え応援する。支援。

- コミュ委員, コンソ委員が, 先生や生徒さんと,
- 発表を通じて, 「総探」と生徒と先生を, 評価する。
- どこまでも, 支え応援するために, 評価をする。
- なぜなら, 美高教育の主体は, 先生と生徒。

- 認める
- 讃える
- ほめる
- 期待する
- ゆさぶる
- 激励する
- 叱る
- 怒る..





はずしたくない?!

美高の探究発表会（3/13）評価の3ポイント

- ◎ 1 「評価の基準表」（ルーブリック）のキーワードを取り上げて、
- ◎ 2 発表の、がんばっていた点、良かった点を、具体的に伝える。
→認める、讃える、ほめる
- ◎ 3 この発表から、
 - ・何を考えて欲しいか伝える。 →期待する、ゆさぶる、…
 - ・何を大切にしたいか伝える。 →期待する、ゆさぶる、…

! 探究発表会を開催しました! ~その1~

3月13日(水)、1・2学年全体で探究発表会を開催しました!夏に実施した3年生の探究発表に刺激を受けた在校生たちが、“熱く”探究の成果や途中経過を発表しました。

開会に先立ち、今年度、熊本や京都、福岡(北九州)へ先進校視察へ赴いた生徒会役員たちが、「生徒会から在校生に向けて視察を通じて感じたことを伝えたい」という思いから、視察の報告をしてくれました。生徒の代表として学校をリードする意識が高まっていますね。

生徒会の報告の後、探究発表会の開催です。このたびは、指導助言者として、岡山県青少年教育センター閉谷学校所長 香山真一様、一般社団法人まなびと代表理事 江森真矢子様、広島経済大学教養教育部教授 胤森裕暢様をお招きし、発表に対する指導助言を賜りました。また、そのほかにもオブザーバーとして、近隣の大学関係者や公民館長、広島市教育委員会の関係者など、多数の方々にご参加くださりました。ご多用のところ、まことにありがとうございました。

いよいよ、次の記事は生徒による成果の発表の様子です!(その2へつづく)



! 探究発表会を開催しました! ~その3~

2年生は、「総合的な探究の時間」で取り組んでいる「地域課題解決プロジェクト」について発表しました。2年生は完全個人の発表です。自分が将来進みたい学問分野の課題を整理し、それらの課題が広島市ではどのような悪影響を及ぼしているかを情報収集したうえで自分なりのRQ(リサーチクエスション)を立て、さらに3年生でRQを解決するためのフィールドワーク計画を発表するという、いわば中間発表を行いました。

「被爆の記憶を継承することの意義とは?なぜ記憶を風化させてはいけないのか?」

「広島市において、都会への人口流出や少子高齢化に伴った労働者数の減少は、どういったデメリットを抱えているのか?」

「サブスクリプションにおける映画配信は、地域の不活性化をもたらすと考えられるが、広島市の映画館はどのようにして人気を維持しているのか?」

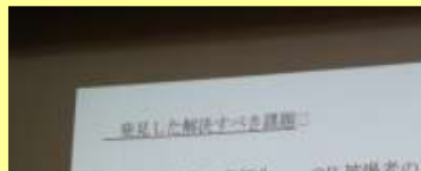
「過疎化による医療格差を解決していく上で、医師にとっても、患者にとってもプラスの働きになるためには?」

「広島市で女性はエンジニアをしやすいのか?」

そのほかにも多くのRQが発表されました。2年生の発表には、発表者それぞれに指導助言をいただきました。「RQが大きいので、視点をどこかにフォーカスした方がいい」「成功事例を調べて比較したらよい」「先行研究で明らかになっている部分を調査するとよい」など、個々に応じた助言をいただきました。

最後に胤森教授から全体講評として、生徒間の相互評価の意義や大事なポイントを伝えていただき、生徒が探究をすすめていくためのヒントを伝えていただきました。

はじめての取組みで不安もありましたが、生徒の探究心に火をつける絶好の機会となったように思います。



このフィールドワークは、地域の魅力や地域の課題について、生徒たちが“体験”することで、「自分事」と捉え、より深く考える問いが生まれることをねらう。

【フィールドワークの候補地】

- ・江田島市のかき打ち体験や魚釣り体験
- ・三次・庄原地区のサイクリング体験
- ☆佐伯区湯来町の多種多様な交流体験

湯来町を選んだ理由は、佐伯区役所（地域起こし課など）の公的機関と連携し、探究活動を進められるから。

地域おこし課長は、探究発表会も参観していて、**学校運営協議会委員**他であるから。

後日、課長と同課職員がフィールドワークの事前指導。



【参加者生徒から出された問いや課題例】

「外国人観光客に出会わなかった。ゲームソフトの『岩手再現島』のように、湯来町も取り上げたら？」

「マンガの聖地となった施設が営業していない。集客性の高いコンテンツを生み出す必要がある。湯来町の町並みのイラストをフリー素材として配信しては？」

「観光資源を取り入れたアニメーション動画を作成してはどうか？」等。

! 湯来町フィールドワークを実施しました!

3月21日（木）に「湯来町フィールドワーク」を実施しました。今回は希望者18名が参加しました。

事前に佐伯区役所地域起こし推進課の方から湯来町の魅力や課題を教えていただいたうえで、さらに「行ったからわかる魅力や課題」「聞いたからわかる魅力や課題」を見付けに行きました。

久保アグリファームで乳しぼり体験や苺狩り体験をした生徒、足湯に入った生徒、こんにやく料理を堪能した生徒など、それぞれの興味関心に応じて調査を進めました。

今後は、フィールドワークで得た気付きをもとに、湯来町をよりよい町にするための提案をレポートにまとめ、佐伯区役所の方へフィードバックする予定です。



学校運営協議会 第1回（6/21）－校長による「学校経営方針2024」プレゼンテーションをふまえて－

【学校経営計画について提案・協議】

＜令和5年度 学校評価＞

① 中期経営目標

系統的な探究活動を研究・実践することにより、主体的に学び、思考・判断し、課題を解決しようとする生徒を育成する。

② 短期経営目標

自ら課題を設定し、主体的に学ぶ生徒を育成するため、「総合的な探究の時間」の学年全体での指導体制を構築する。

③ 具体的方策

教育研究部が中心となって、毎時間の「総合的な探究の時間」における指導資料を作成する。指導の具体については、学年会および担任副担任の連絡調整によって周知徹底を図る。

＜令和6年度 学校評価＞

① 中期経営目標

グローバル探究科で育成を目指す資質・能力を着実に育成する。

② 短期経営目標 ※本年度の美高重点目標

グローバル探究科で育成を目指す資質・能力を全ての教職員・生徒・関係者が把握し、本校のカリキュラムを通じて資質・能力の伸長を目指す。

③ 具体的方策

4月当初の職員研修においてグローバル探究科で育成を目指す資質・能力について教職間で共有する。

また、グローバル探究科で育成を目指す資質・能力のルーブリックを全ての生徒に説明し、各教室に掲示する。

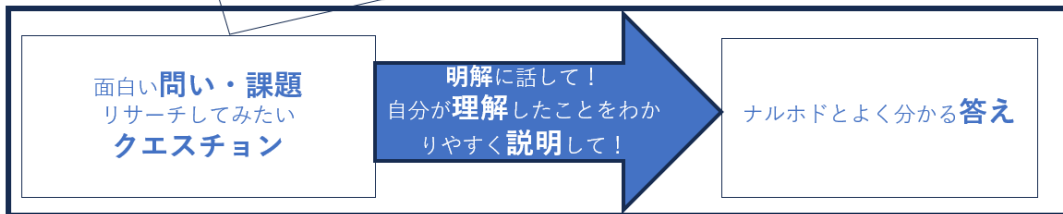
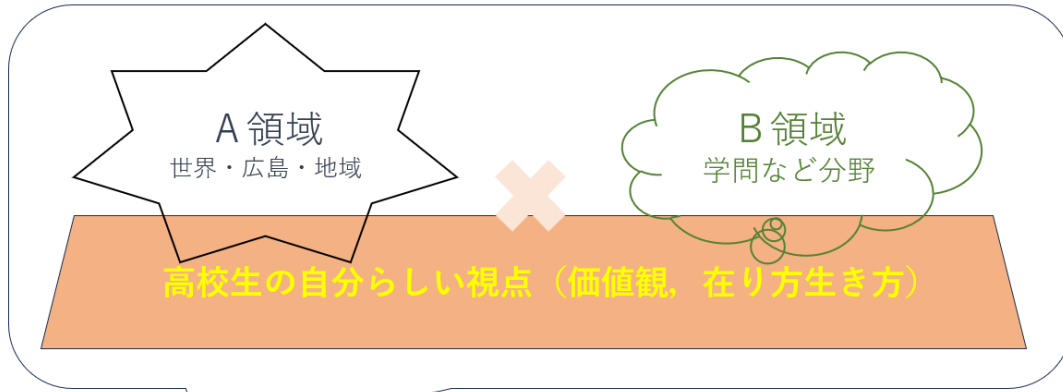
授業観察月間で、各教員が資質・能力を育成する授業を計画・実施する。

コンソーシアム 第1回（6/28）

【美高「拡大未来会議」からの「区役所連携型地域探究」提案】

- ・佐伯区役所から地域課題のアイデア出し（7月）
- ・美高生徒に適した課題を精選（8月）
- ・佐伯区役所と実施に向けた協議（9月～）
- ・区役所連携型地域探究の開始（12月～）
- ・地域関係者を招いて、探究発表会（2月予定）

運営指導委員会（8/9）で報告



令和6年度 広島市立美鈴が丘高等学校 育成を目指す9つの資質・能力のルーブリック(第1版)

主要分野	9つの力	【学校教育目標に基づいた9つの資質・能力の全体像】
		国際平和文化都市「広島」をフィールドとした学びにより地域社会の発展に貢献し続ける力を育成する。
		レベルA(よい)
地域や社会の課題を見出す力	情報収集力	<input type="checkbox"/> 調べていることの一次情報を得ることができる。 <input type="checkbox"/> インターネット上の web サイトや図書館の書籍を活用して情報を得ることができる。 <input type="checkbox"/> 先行研究や関係する論文から情報を得ることができる。
	情報分析力	<input type="checkbox"/> 情報を他の同様のものと比較することができる。 <input type="checkbox"/> 情報を他の同様のものと比較し、共通点や相違点を明らかにすることができる。 <input type="checkbox"/> 情報を複数の観点に基づいて整理できる。
	発信力	<input type="checkbox"/> 学校内や地域内に自分の考えた事を伝え、発信に対しての応援、助言、拡散など一定の反響を得ることができる。 <input type="checkbox"/> 日本全体や海外に自分の考えた事を伝え、発信に対しての応援、助言、拡散など一定の反響を得ることができる。
正解のない課題に思い切り取り組む力	自分力	<input type="checkbox"/> 現状を受け入れ自己を改善しようとする姿勢がある。 <input type="checkbox"/> 他者の意見を自分の成長につなげることができる。
	思考力	<input type="checkbox"/> 自分の考えについて根拠を持って述べることができる。(論理的思考力) <input type="checkbox"/> 自分や他者の意見について批判的に考え、新たな問いを持つことができる。(批判的思考力)
課題や問題を解決する力	行動力	<input type="checkbox"/> 探究学習等を通して疑問に思ったことや課題に感じていることに対して、関係者等にインタビュー調査をしたり、現地を訪問したり、価値創造や課題解決につながる行動を起こすことができる。
	調整力	<input type="checkbox"/> 機会が与えられれば自分の行動や考え方を振り返り、よりうまくいくように行動や考え方を調整することができる。(言われたら振り返る・他律的)
課題を解決する力	連携力	<input type="checkbox"/> 引き受けた役割に責任を持つことができる。 <input type="checkbox"/> 引き受けた役割において自分しか出せない価値を出すことができる。
	実践力	<input type="checkbox"/> 与えられた課題に取り組むことができる。 <input type="checkbox"/> 指導されたことを理解し、主体的に考えながら動くことができる。

【情報収集力】

- A 自分で見たり聞いたりした一次情報、かつ統計データや新聞記事といった信頼できる情報をもとに発表されている。 **自分が気になる情報がより重要だよといわれてるネ！**
- B 統計データや新聞記事といった信頼できる情報をもとに発表されている。 **信頼されている情報で説明しなさい、ダネ！**
- C 集めているが主観的だったり、出典（ソース）が不確かだったりする情報に基づいて発表されている。

【思考力】

- A 課題が生じる原因を的確に分析し、その原因に応じた解決策を高校生ならではの視点で提案している。 **課題←原因、そして原因←解決策が、それぞれつじつまがあっていて、一貫させなさい、ダネ！**
- B 課題に対する解決策を高校生ならではの視点で提案している。 **高校生ならではの視点（高校生の価値観）を土台にせよ、ダネ！**
- C すでに実施されているような提案（手遅れ提案）や、課題の解決につながるか不確かな提案（無意味提案）がなされている

学校運営協議会の各委員が、美高との多様な協働的活動を充実させつつ、

- ① 美高カリキュラムを改善してゆく意味と効果的な方法について、生徒・保護者、教職員、学校運営協議会委員の間で共通認識を深める。
- ② コンソーシアム（探究的な活動を支援する連携協力体制）を、実効的な支援・協力の場とする。
- ③ 運営指導委員会からの創造的な指導・助言を理解し積極的に生かす。

